

オリエンテーリング in 朝霧

静岡県朝霧高原 (朝霧野外活動センター) 10月27-28日

村越 真

日本を代表する野外活動施設で開催された本行事は、家族からアウトドアアスリートまで、多くの参加者を楽しませました。

オリエンテーリング普及の一つのモデルケースとなるロゲイニング大会となった。



朝霧ロゲイニング「いつでも見える富士山が、ランの疲れを癒してくれる(写真提供: チームイーストウィンド)」

経緯

朝霧野外活動センターは、今年から指定管理者制度により(社)日本キャンプ協会が管理運営を行っている。これまでの行事についても見直しを行ない、「野外施設でしかできないことを」という考えから、「オリエンテーリング in 朝霧」という名称で、以下に示すような内容のイベントをおこなった。内容のデザインについては、村越が全面的にバックアップした。

概要

1日目は14:00からミニ0、15:30からミニアドベンチャーレースを行なった。

ミニ0は、センター敷地内で、小学生でも楽しめるオリエンテーリングである。また、ミニ・アドベンチャーレースも、センターにあるマウンテンバイクを利用し、ラン・MTB、カヌー(これもセンター内の池で実施)等からなる、本格的だが小学生でもチャレンジできるものとした。

また、アクティブな活動を望まない人のために、いずれのプログラムも、裏番組のクラフトを提供した(これはセンターの指導者が対応)。この日は雨にもかかわらず、多くの人がミニ0と

ミニアドベンチャーレースの両方を行なった。

夕食後には、読図講習や田中正人氏と宮内佐季子氏にアドベンチャーレースの世界について紹介してもらった。

2日目は5時間のロゲイニングであるが、子どものいる家族のために3時間コースも用意した。しかし天候がよかったせいもあって、ほとんどの家族が5時間を選択した。

全参加者は約120名。短期間の広報のわりには集まったと思う。普段行なっているスポーツを聞くと、オリエンテーリングが25名、MTBが22名、アドベンチャーレースが23名、トレイルランが22名、キャンプが20名と、多様なアウトドア活動者が集まってくる点もロゲイニングのよさだろう。事後のアンケートからも、90人中、74人が「とてもおもしろい」、49名が「ぜひまた参加したい」と回答した。家族向けにはやや厳しかったという指摘もあったが、それはそれで楽しんだという感想もあり、全般的には新鮮な印象を与えたようだ。主管者としても、野外プログラムとしてのオリエンテーリングの新たな可能性を見いだした二日間であった。

感想から

ミニアド感想

・見学していたのですが、見ていて子ども達がとても面白そうでした。とても貴重な体験をすることが出来ました。ありがとうございました。

ロゲイニング感想

・自然や良い景色のポイントを探し回るのはとても楽しかった。19番は大変だったけどめったに山中を歩く機会はないので、楽しかった。枯川も良かったです。

・コントロール位置も景色の良いところだったり、地元の名所みたいなところがあったです。

・範囲が広すぎて、子どももいたので、6箇所しか回れませんでした。地形的に見てポイントセッティングが良かったと思います。

・田貫湖、富士山の絶景素晴らしかったです。

自由感想

・2日間ともとても楽しくとてもためになる(参考になる)時間を過ごすことが出来ました。今後もこのような行事があれば是非参加したいと思います。

・ファミリー的なイベントかと思いきや、有名な講師の方々、県外各地からの参加の方々、競技で身のほど知らずの参加ではありましたが、新しい世界を知ることができ、とても勉強になり、楽しませていただきました。

雨にもかかわらずミニオリエンテーリングを楽しむ参加者(上)と、快晴に恵まれたロゲイニング(下)



(村越 真)